



安方中だより

令和4年12月21日 第8号

大田区立安方中学校

「15歳の冬」

校長 佐藤 彰

早いもので令和4年も終わろうとしています。「時の流れは加速する」という言葉を聞いたことがあります。歳を経るにしたがって1年があつという間に過ぎていくと感ずます。生徒の皆さんも、学年が上がるほど月日の過ぎるのが早く感ずるのではないのでしょうか。改めて、日々を無為に過ごすことなく、意味のある1日にしていくという気概が大切だと感ずています。



さて、表題の「15歳の冬」ですが、今回は私の中学生時代を回想して文章にしたいと思ひます。つたない内容ですが、ご容赦ください。

私は福島県で育ち、地元の公立中学校に通っていました。勉強よりもバスケットボールに夢中で、家に帰っても毎日ハンドリングやドリブルの練習をしていました。その部活動も、ブロック大会で敗れて県大会にはすすめず、夏休み前には引退をしました。

そこから、本格的に受験勉強を始めることとなります。当時は月に2回、新聞社主催の模擬テストを学校で実施しており、同じ高校を志望する人の中でどれぐらいの順位にいるのかなどがわかりました。夏休みに入つてすぐに受けた模試の結果をみて、愕然としたのを覚えています。得意としていた社会ですら、ごく普通の結果だったのです。当時の私は、定期テストの10日ぐらい前から猛然と勉強して頭にたたきこみ、テストが終わつたらほとんど勉強しないというスタイルでした。テストの点数はそれなりに取れるものの、まったく定着はしていないので忘れてしまつていたというわけですね。これまでの自分を反省するとともに、合格できるのかという強い不安と焦りを感じ、真剣に勉強をするようになりました。

私の志望校は、家から一番近い県立の伝統校です。父が卒業生であり、2歳上の兄も通っていました。部活動もさかんで、兄も所属していたバスケットボール部は県で準優勝をしている強豪校です。当時の地方は県立志向がとても強く、私立高校の数も限られていました。県立高校が不合格だった場合、浪人する生徒が一定数いて、そのための予備校もありました。余談ですが、高校に入学したら同じクラスに浪人した人が5人いて、そのうちの1人が中学校の部活の先輩でとても戸惑いました。

当時、私の家は経済的な余裕がなく、塾に行かないのはもちろん、私立高校を受けるという選択肢もありませんでした。「不合格なら中学浪人・・・」というのはいかほどの重圧でしたが、その分猛勉強をするに至りました。毎月受ける模試や定期テストの点数が次第に上がるようになり、ますます真剣に勉強に打ち込むようになりました。

そして、冬休みを迎えました。当時、私の家では、年末年始は母の実家である仙台市に住む祖母の家に行くのが恒例でした。祖母と叔父夫婦、いとこがいて、お年玉もたくさんもらうことができます。

クリスマスを過ぎたころ、私は両親に「今年は仙台に行かない。おれは家に残つて勉強する」と伝えました。たった3日間でも、勉強できないのが不安だったからです。内心、母は残つてくれるかと期待しましたが、「あつそ」と言つて私を置いて両親と兄は仙台に出かけていきました。

15歳にして、初めて一人きりの年末年始を過ごしましたが、朝から夜まで、勉強して過ごしました。

大みそかの夜、家の電話が鳴りました。出てみると、仙台の叔父さんからでした。「彰、お前は どうして来ないんだ」「仙台では勉強ができないので、家に残って勉強がしたいから」「ばあちゃんに会えるのは年に1回か2回だ、それなのに来ないとは何事だ」「・・・。」「ばあちゃんに顔も見せずに勉強するとは、お前は今まで一体どんな勉強をしてきたんだ。これまでがいい加減だったということだ」「・・・。」

「お兄ちゃんにはお年玉をあげるが、お前の分はないからな!!」
と言って電話は切れました。電話に出た時は褒められるのかと思いましたが、すごい剣幕で叔父さんに叱られました。

しかし、当時の私にも、叔父さんの言っていることが正論だとわかりました。かつての取り組みがいい加減だったのです。その反面、今は少しの時間も無駄にしないで勉強に打ち込みたいと純粋に思っていたことも事実です。ちなみに、叔父さんは本当にお年玉をくれませんでした。祖母と叔母さんはこっそり母に渡してくれたようです。

「17歳の冬」や「25歳の冬」に何をしていたか?と聞かれても、詳しくは覚えていません。バスケットボールをやっているか教えていたと思いますが、具体的なことは答えられません。でも、「15歳の冬」のことは鮮明に覚えています。先が見えず、苦しくて不安な冬でした。その中でも、家族や先生方の支えや友達のありがたさがよくわかった時期でもあります。

中学生にとって「15歳の冬」は試練の時ですが、冬は必ず春となります。歯をくいしばる、前を向く、支え合うことを胸に、皆さんが晴れやかな「15歳の春」が迎えらることを祈っています。

「表彰」おめでとう!

【税の作文】 ○中学生税の作文
「会長賞」 田畑 和紗さん



【女子バスケットボール部】
○令和4年度大田区バスケット
ボール新人大会
「準優勝」



【美術展】 ○大田区立中学校教科作品
 展覧会 美術
40名の作品が出品され、代表生徒に賞状が授与
されました。
1年 多田 美知瑠さん
2年 佐々木 絆詠さん
3年 佐久間 唯 さん

